



第378号

2018年 4月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

世界召命祈願の日 4月22日 神によって、ある人は、さまざまな職場で働く人として、また夫、妻、父、母としてよい家庭を築くように、そしてあ

る人は、神と人とに仕える司祭、修道者となるように招かれています。とくに「世界召命祈願の日」には、司祭、修道者への招き(召命)に一人でも多くの人が応えることができるように祈ります。

教区ホームページ

福音のひびき

4月の説教者

- 1日 復活の主日 竹谷基 (半田教会)
8日 復活節第2主日 マーティン・アクエティ・デュマス (南山教会)
15日 復活節第3主日 北向修一 (春日井教会)
22日 復活節第4主日 ベルン・テトホル (福井教会)
29日 復活節第5主日 暮林響 (神言修道会)

NWM in 北陸

豪雪の富山に若者115人

神の贈り物つなぐ

記録的な大雪が続く富山に全国から115人、名古屋教区内から40人近い若者たちが集まり、ネットワークミーティング(NWM) in 北陸が2月10・11日の土日、富山県砺波青少年自然の家にて行われた。
ネットワークミーティングとは、全国のカトリックの青年・青年活動を支える信徒・修道者・司祭が自由に集い、今抱えている問題や信仰のこ



NWM 北陸スタッフのみなさん



ロザリオの祈り



新たな決意をハートに



交流会

具体的には、プログラム①「交流ゲーム」として、名古屋教区5県を知る「当地謎解きゲーム」で盛り上がり、プログラム②では、木製のハートラップとビーズを使って世界で一つのロザリオを作り、皆でロザリオ

私たちにあって、嬉しいこと、悲しいこと、辛いこと、すべてを神様からの贈り物として受け止める、神様から「どうも」と受け取ったたくさんの贈り物を、ほかの誰かへ「どうぞ」と繋いでいこうという、プレゼント交換のような体験をしたいという願いが込められている。
北陸3県の青年たちも準備段階からスタッフとしてたずさわった。昨秋の贈り物として受け止めた、PRのために北陸の教会を回り、信者たちとの交流の機会が与えられ、たくさんの方の助けを受け取った。



講演する梅村司教

第47回名古屋教区典礼研修会が3月3日、南山教会マリア館ホールで開かれた。日本カトリック典

困難なミサ典礼書翻訳 日本カトリック典礼委員長 梅村司教講演

ヨーロッパの言語はラテン語に起源をもつものが多い。だからたとえイタリア語に最も近いイタリア語で「主の祈り」を歌い始めると、歌い終える頃にはいつの間にかラテン語で歌っていたりする

梅村司教講演

浦上村キリシタン殉教地ミサと高山右近ゆかりの地をたずねて... 松浦司教様と金沢巡礼の旅
日程 4月30日(月・振替休日)
参加費 5,000円(昼食・保険含) 定員 48名
締切 4月4日定員になり次第締め切り
行程 7:30 受付(布池教会正面)
8:00 出発(時間厳守)
13:30 卯辰山野外ミサ(雨天の場合は金沢教会)
15:00 卯辰山出発
15:15 金沢城など散策
20:00 布池帰着予定
申込み 別紙申込用紙に記入の上、宣教司牧評議会事務局宛て郵送・持参・Fax・Emailにて申し込み
Fax 052-935-2254
E-mail: senshikyo@nagoya-diocese.jp
主催 名古屋教区殉教者顕彰委員会

名古屋に流配された浦上キリシタンのためのミサ 浦上四番崩れ 日本のキリスト教史に足跡を残した1ページ
日時 4月29日(日・祝) 14:00~
場所 カトリック主税町記念聖堂
司式 浅井太郎 神父
主催 カトリック名古屋教区殉教者顕彰委員会
問合せ ☎052-936-8366

第40回日本カトリック正義と平和全国集会 2018名古屋大会 共に生きる地球家族
—今問われる、私たちの選び、私の決意—
2018年11月23日(金・祝)・24日(土)
主催 カトリック名古屋教区
共催 日本カトリック正義と平和協議会

く共同体として行うもの」という2点は、特にこの日の主題に合致することを確認した。
また、求道者と共に歩む「信仰の道」求道者養成の手引きとなる儀式書『成人のキリスト教人信式』にも触れて解説があった。
研修会の開始にあたり、ブレンダン・ケレハの文書は、教区典礼委員会定例会の際に用いている祈りで、委員会のホームページ(http://ndic.jp/index.html)にもアップされている。(教区典礼委員・新内飛鳥)

定例司教総会が終了

2018年度定例司教総会が2月19、22日、東京・江東区の日本カトリック会館で行われた。

主な審議事項

「カトリック新教会法典」について、二つの議案が審議された。一つは、典訳の翻訳に関する第838条の改訂条文の日本語訳について。一つは、見直しが行われていた同法典中の新たな用語について、それぞれ承認された。



また、これまで東京と福岡の2キャンパス制をとっていた「日本カトリック神学院」は、二つの諸教区共立神学校へと移行することが承認された。

2019年に予定されている今上天皇の退位、新天皇の即位に関連して、憲法20条にある政教分離原則が厳守されるよう要請書が承認され、安倍首相に送付された。

カトリック新聞について、特別チームによって策定され、その提案が総会で承認された。内容は、電子媒体（IT）を活用する広報活動をカトリック中央協議会の重要な宣教事業の一つとして位置づけ、同時に、紙媒体の意義を再考し適切な独自の役割を果たすようにするものである。

分裂を乗り越えて

世界祈禱日



新井由貴 牧師 (在日大韓基督教教会)

2018年世界祈禱日の礼拝が3月2日、在日大韓基督教教会(名古屋市中村区)で行われ、日本福音ルーテル教会、カトリック名古屋教区、日本基督教団、救世軍、日本聖公会、在日大韓基督教会などから、18人が礼拝に訪れた。

でもよい。スリナム語では「ア・ヘリ・グロンタプ デイ・ガド・メキ・ブンドロ・ドロ！」。歓迎のあいさつ、礼拝への招きに続き、スリナムの7人の女性たちが紹介された。

創世記1章から神のこゝとを聞き、罪の告白と赦しを求める祈りを唱えたのち、新井由貴牧師は「主はあなたと私の関係をお望みになった。神に似せて造られた私たち、神との共通点を恵みとして与えられた。一人ひとりが特別な存在なのです」と説教した。

最後は派遣の祝福で礼拝を終えた。カトリックからの参加者は58人だった。

—今もなお部落差別が存在するなかで—

「部落差別解消推進法」

部落差別の実現に取り組んでいる愛知同宗連講演会が2月21日、東別院会館大ホールで開かれ、宗派を問わず一般参加者を含め約250人が聴講した。今年で30回を迎えた。主催したのは同和問題にとりくむ愛知県宗宗教団連絡協議会。

初めに、主催者・愛知同宗連議長長の戸田俊晴さん(曹洞宗)が「昨年12月に部落差別解消推進法が国会で可決・成立した。しかし課題は多く残されている。法案成立をスタートに被害者救済、審議会の設置などの課題を解決し、さらなる部落解消に向けた運動の展開につなげたい」と挨拶した。

講師の谷川雅彦さん(部落差別・人権研究所所長)が「部落差別解消推進法のこれから」と題して講演した。

①「部落差別解消推進法」制定の経緯と立法事実とその意義。
②法施行から1年、具体化の進捗と法活用へ向けた今後の課題。
③改正社会福祉法と差別解消の取り組み

項目を詳しく話した。全体をまとめると、概ね次の通り。

現在もなお部落差別が存在するとの認識から出発し、すべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識の下に、これを解消することが重要課題である。

部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現するために、基本理念を定め、国および地方公共団体の責務を明らかにして、相談体制の充実などについて定める必要がある。

クリスマス献金のお礼とご報告

待降節よりお願いしました「クリスマス献金」について、次のようにご報告いたします。今年度のクリスマス献金は教会・修道会・病院・幼稚園・個人の方より46件1,294,367円頂きました。ご協力、ありがとうございました。今年度の支援先です。

2018年3月9日現在

支援先	支援金(単位・円)
福信館・炊き出し部	320,000
福信館建設	100,000
岐阜ダルク	50,000
名古屋ダルク	50,000
NPO法人セカンドハーベスト名古屋	300,000
RASA-Japan ※	300,000
災害福島支援活動・(狩浦正義神父)	150,000
合計	¥1,270,000

※ RASA-Japan(名誉理事長・ジョン・ジョセフ・シーランド神父)はフィリピンへの学校建設他フィリピンの人々の支援を行っています。尚、残金の24,367円は緊急災害支援の預金に入れていただいております。 教区社会福祉委員会 名古屋市昭和区恵方町2-15 ☎052-852-1426

膳棚教会で講演会

ロヒンギャ難民の現状を聴く

国家による排斥、宗教・貧困の問題も



杉江あいさん

杉江あいさんによる講演会が3月4日、膳棚教会で行われた。杉江さんはバングラデシュに住むロヒンギャの調査、援助を現地で10年余りに渡って行ってきた。

初めに歴史から見たこの問題の説明があった。ロヒンギャとは、中世から現在のミャンマー(仏教国)に住んでいたイスラム教徒であり、仏教徒とイスラム教徒が平

和に共存していた時期もあった。しかし、ある時代、支配者が対立を生むようになると、ロヒンギャは隣国、現在のバングラデシュに逃れた。時代を経てバングラデシュが英国の植民地になると、再びミャンマーへと戻った。

1948年にミャンマーが独立。その当時はロヒンギャもミャンマーの国民として国籍を与えられていたが、1982年に国籍法が制定されるとロヒンギャは国籍をなく奪われて無国籍となった。次に、住居、食糧、医療、衛生環境などの悲惨な現状を映像と共に話した。

まず差し迫って必要なのは飲み水の確保であり、そのために井戸掘りの計画を立ち上げている。一つの井戸を掘るのに7〜8万円かかり、寄付への協力も依頼があった。

ロヒンギャ問題は歴史、政治的にも複雑で難しい問題であり、すぐに解決策が見いだせるわけではない。しかし待つことのできない悲惨な現状を何とかしなければ、という思いから取り組んでいる。またこの問題は政府レベルの問題だけでなく、国民の中にも根強い排他的意識が存在している。

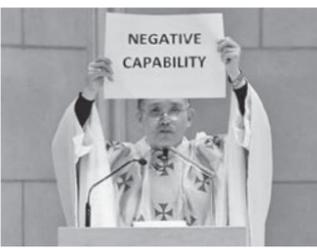
最後に一人の参加者の提案で、この会場にいるイスラム教徒、キリスト教徒が共に心を一つにして祈りをもって講演会を終了した。

和に共存していた時期もあった。しかし、ある時代、支配者が対立を生むようになると、ロヒンギャは隣国、現在のバングラデシュに逃れた。時代を経てバングラデシュが英国の植民地になると、再びミャンマーへと戻った。

1948年にミャンマーが独立。その当時はロヒンギャもミャンマーの国民として国籍を与えられていたが、1982年に国籍法が制定されるとロヒンギャは国籍をなく奪われて無国籍となった。次に、住居、食糧、医療、衛生環境などの悲惨な現状を映像と共に話した。

光ヶ丘女子高等学校の生徒、卒業感謝ミサに与る

今年、卒業を迎える光ヶ丘女子高等学校(岡崎市)の生徒約350人が2月13日、カテドラル布池



太田実神父

教会で卒業感謝ミサに与った。司式は太田実神父(名古屋教区)。

説教で太田実神父は、この日の三つの朗読の共通点は「知恵」だと述べた後、人生における知恵として、「negative capability」(ネガティブ・ケイパビリティ)という言葉を生徒たちへのはなむけの言葉とした。この言葉は精神科医、森



シスター小林校長



奉納する卒業生たち

山崎彬さん(ペンネーム 帚木逢生)の本題名「ネガティブ・ケイパビリティ」答えの「耐える力」から取ったもの。世の中はすぐ解決が出来る問題の方が多く、しかし、どうにもならない問題がある。最後にシスター小林校長から「祈ることを知っている人は、祈る人を助けています」の言葉があった。

ミサの後、布池教会に隣接する聖ヨゼフ館で、謝恩会(テーブルマナー)が開かれた。

第27回 聖霊病院ボランティア 基礎講座

対象者 1. これから当院でボランティア活動を希望される方
2. 当院でボランティア活動をしている方で、まだ受講されていない方
3. 当院のホスピスボランティア講座受講を希望される方

定員 20名

日程 第1日目: 4月23日(月) 13:30~16:00
第2日目: 4月24日(火) 10:00~16:00

場所 聖霊病院2号棟アーノルド館4階 第1・2会議室

第14期 聖霊病院ホスピスボランティア講座のご案内

定員 16名(定員になり次第締め切ります)

場所 聖霊病院2号棟アーノルド館4階 第1・2会議室

日程 下記の通り 10回20時間(講義) 火曜日13:30~16:00
(基礎講座を修了していることが条件。未受講の方は必ず参加してください)
5月22日/6月5日/6月19日/7月3日/7月24日/9月11日/
2019年1月15日/1月29日/2月5日/2月19日/3月5日

受講資格 1. 聖霊病院ボランティア基礎講座修了者であること。
2. 全10回全てを受講すること、および並行してボランティア体験(1年間60時間以上)が可能の方。ボランティア体験は、聖霊病院ボランティアの会である「みどりの会」あるいは「あおぞら会」に所属して行います。
3. 心身ともに健康な方。
4. 今後計画される継続研修に参加することができる方。
5. 18歳以上であること。
6. 将来、聖霊病院ホスピス聖霊において毎週1回、決められた曜日の午前9時15分から午後4時まで、年間を通して活動ができる方。

締め切り 4月13日(金)

問合せ・申込先 聖霊病院 カトリック社会事業室 ☎052-832-1181(代表)
ボランティアコーディネーター 矢沢

南山教会小聖堂での賛美の集い

神さまの前で、賛美と感謝をささげるとともに祈りましょう!

日時 4月15日(日) 11:00~祈り 11:40~分かち合い

場所 カトリック南山教会小聖堂

ラビリンスメディテーションへのおさそい

日時	テーマ
1 4月14日(土)	「あなた方に平和があるように」
2 5月12日(土)	「全世界に行って福音を宣べ伝えなさい」
3 6月9日(土)	「神のみ心を行う人こそわたしの兄弟、姉妹また母である」
4 7月7日(土)	「人々の不信仰に驚かれた」
5 9月8日(土)	「神はわたしたちと共におられる」
6 10月20日(土)	「人の子は仕えられるためではなく、仕えるために来た」
7 11月17日(土)	「天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない」

前もって申し込みは必要ありません

時間 毎回13:30~16:30

場所 聖霊ミッションセンター(旧八事聖霊幼稚園)

参加費 200円

青年女性のための召命黙想会

テーマ 「わたしの愛にとどまりなさい」

指導 トントン師(神言会)

対象 青年女性

日時 6月16日(土) 14:00~17日(日) 16:00

場所 八事聖霊修道院

参加費 3,000円

問合せ・連絡先 八事聖霊修道院
☎052-832-0434
E-mail: seirei-voc@kss.biglobe.ne.jp

名古屋マック支援・春のバザー

日時 4月15日(日)
10:15~13:30(ミサ終了後)

会場 カトリック五反城教会
名古屋市中村区二瀬町27
(地下鉄岩塚駅下車2番出口徒歩5分)

連絡 駐車場がありませんので公共交通機関でお越しください。
バザーの品物を集めています。
ご協力をお願いします。

主催 社会福祉法人 AJU 自立の家
名古屋マック後援会

問合せ 名古屋マック ☎052-912-5508

名古屋教区カトリック女性の会

「樹の会」

第11回総会・講演会のご案内

《総会》
日時 5月19日(土) 13:00~13:40(受付:12:30)
場所 カトリック南山教会マリア館2F 大ホール
(地下鉄鶴舞線 いななか下車②番出口徒歩7分)

《講演会》
日時 5月19日(土) 14:00~15:30(受付:13:40)
場所 カトリック南山教会マリア館2F 大ホール
講師 マイケル・シーゲル神父
南山大学社会学部客員教授

演題 ☆共に生きる地球家族☆
今問われる私たちの選び 私らの決意

2018年11月23日・24日に名古屋で開催される「正義と平和全国大会」のテーマに沿って学習する機会として、長年にわたり松浦悟郎司教様と活動されているシーゲル神父様にお話頂きます。

世界的な広い視野と豊かなご経験からのお話によって、私たちに何が出来るかをこの機会に共に学びましょう!
会員以外の方々も、また男女を問わず多くの皆様のご参加をお待ちしております。
☆手話通訳あり。講演会には、学生・若い方・男性の出席も歓迎です。(会費:無料)
☆公共交通機関をご利用ください。
☆連絡先「樹の会」事務局(☎090-5107-0644 平尾)

講演する沼野尚美さん



講演する沼野尚美さん

沼野さんの語りは軽快で、簡潔明瞭であり、体験を通しての五つのコツを教えてください。

1 「前向きに生きる」。

2 「ユーモアをもって生きる」。ユーモアは人を笑顔にし、あたたかい人と人との交流を生む。

3 「感謝しつつ生きる」。他者と比較するのではない、すべてのものが生かされているしあわせである。

4 「趣味を持つ」。自分が自分らしく楽しく過ごすことができる。

5 「家族の絆を育てて生きる」。家族が互いに向き合い、心の通い合う、思い出を作り、つなげていく。

関西弁で、ユーモアがあり、楽しく面白い話で、あつという間に時間が経ってしまつた。

「講師の体験による、説得力ある深い話は、心に響くものや気づかされるものが多かった」「生きる力をもらった」「自分に向き合いながらより良く生きることを考えた」「い」などの感想が聞かれた。

「ドイツは、2022年の原発閉鎖に向かっているというのに、日本は第二次世界大戦についてきちんと反省していない」「福井にたくさん原発がある。もし事故が起きたら、あるいは北朝鮮がミサイルを落としたら日本は全滅状態になる」「僕は鉄腕アトムの世代、原子力の世代だが、福島原発事故で、核を由々しきものと思つた。核分裂は大変な問題、人間存続の問題だと思つた」「福島事故を多くの国民が大被害と感じていないのは?」「政府が思わせないようにしている」「事故が起これば起こるほど、国民が負担をしている」「50年前、福井県小浜市は原発の勧誘があつたが断つた。三重県も女性たちが反対した」「原発のことを教会で取り上げて、若い人たちに興味を持ってもらうようにしよう」「若い人たちに言いたい。核の廃棄物で困るのはあなたたちの世代です」と「教皇様が『ラウダー・シ』の中で「エコロジカルな回心」を勧めておられ

第3回『あとから来る者のために』原発研修会

どなたでも、お気軽にご参加ください。

日時 4月14日(土) 13:30~15:00

場所 カトリック布池教会信徒会館3F
名古屋市東区葵1丁目12-23

参加費 200円(資料代他)

主催 次世代を考える会

問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360

ホスピスの現場から 今を生きるコツ語る

「今を生きるコツ」より良く生きるために」をテーマに、宝塚市立病院緩和ケア病棟チャプレン(施設付牧者)でカウンセラーの沼野尚美さんを講師に迎えて、第13回ホスピス聖霊講演会が2月24日、聖霊病院で催された。

人生の困難・苦難を乗り越える関心を持ち、そこから次に来る困難を乗り越える確信へとつなげる。そこでは、信仰は確信であり、大切なものがある。

2 「ユーモアをもって生きる」。ユーモアは人を笑顔にし、あたたかい人と人との交流を生む。

3 「感謝しつつ生きる」。他者と比較するのではない、すべてのものが生かされているしあわせである。

4 「趣味を持つ」。自分が自分らしく楽しく過ごすことができる。

5 「家族の絆を育てて生きる」。家族が互いに向き合い、心の通い合う、思い出を作り、つなげていく。

第2回「あとから来る者のために」 勉強会の報告

東京電力福島第一原子力発電所事故から7年経ちました。その事故による甚大な被害と、被災し、あらゆるものを奪われた住民の方々の苦しみを、私たちは決して忘れてはなりません。そして、今なお放射性廃棄物の収束

の目途もたつていない現状を、私たちは、遠くのこととしてただ見ているだけでよいのでしょうか。名古屋教区の原発について勉強する会、「次世代を考える会」の第2回勉強会が2月10日、教区センターで開かれまし

た。今回は、教区ニュースを読んで初参加した二人を交えて、示唆に富む勉強会となりました。参加した人たちの声の一部を紹介します。

「ドイツは、2022年の原発閉鎖に向かっているというのに、日本は第二次世界大戦についてきちんと反省していない」「福井にたくさん原発がある。もし事故が起きたら、あるいは北朝鮮がミサイルを落としたら日本は全滅状態になる」「僕は鉄腕アトムの世代、原子力の世代だが、福島原発事故で、核を由々しきものと思つた。核分裂は大変な問題、人間存続の問題だと思つた」「福島事故を多くの国民が大被害と感じていないのは?」「政府が思わせないようにしている」「事故が起これば起こるほど、国民が負担をしている」「50年前、福井県小浜市は原発の勧誘があつたが断つた。三重県も女性たちが反対した」「原発のことを教会で取り上げて、若い人たちに興味を持ってもらうようにしよう」「若い人たちに言いたい。核の廃棄物で困るのはあなたたちの世代です」と「教皇様が『ラウダー・シ』の中で「エコロジカルな回心」を勧めておられ

イースターってどんな日 よんで・みて・伝えよう!

「最初の復活祭」 サンパウロ 1,296円(税込)	「イースター物語」 女子パウロ会 1,080円(税込)	「いーすたーのおはなし」 女子パウロ会 972円(税込)
「イースターってなあに」 1,620円(税込)	「イースターのはなし」 ドン・ボスコ社 1,080円(税込)	



4月の教会暦
 1日(日) 復活の主日(祭)
 8日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
 9日(月) 神のお告げ(祭)
 11日(水) 聖スタニスラオ司教殉教者(記)
 15日(日) 復活節第3主日
 22日(日) 復活節第4主日
 世界召命祈願の日
 25日(水) 聖マルコ福音記者(祝)
 29日(日) 復活節第5主日
5月の主な教会暦(主日・祭日を)
 6日(日) 復活節第6主日
 世界広報の日(献金)
 13日(日) 主の昇天(祭)
 20日(日) 聖霊降臨の主日(祭)
 三位一体の主日(祭)
教区行事予定 (* 松浦司教)
 3日(火) 社会福音化推進部*
 4日(水) 社会福祉委員会会議
 8日(日) 教区中高生会/女子修道会・在俗会連盟総会
 10日(火) 樹の会
 12日(木) 教区顧問会*
 14日(土) 信徒協理理事会
 15日(日) 愛岐B会議
 17日(火) カトリック看護協会例会
 19日(木) 月集*/司祭評常任委員会*
 21日(土) 典礼委員会/レジオ名古屋クリア
 22日(日) 安城教会堅信式*
 24日(火) 難民移住移動者委員会
 29日(日) 祝浦上四番崩れ流配者のため

4月
 23日(月) 24日(火) 日韓シンポジウム(韓国)
 8日(日) 修女連総会
 10日(火) 大阪教会管区青年担当者会議
 4日(水) 外キ協運営委員会
 5日(木) 常任司教委員会、日本カトリック難民移住移動者委員会
 27日(日) 愛岐B・兄弟の集い/北陸B会議
 北陸ブロック宣司評(金沢)*
教区行事以外の松浦司教予定
 24日(木) 教区顧問会*
 26日(土) 教区法人評議会*/典礼委員会
 27日(日) 愛岐B・兄弟の集い/北陸B会議
 20日(日) 総会/レジオ名古屋クリア
 城北B会議/城南B会議/インターナショナルミサ・こどもの集い(南山教会)*
 城北ブロック堅信式(五反城教会)*

のミサ/鯖江教会25周年*
 信徒協委員総会*
 30日(月) 祝殉教者祭(金沢・卯辰山)*
 北陸ブロック司祭会議*
 8日(火) 難民移住移動者委員会/樹の会/社会福祉委員会会議
 12日(土) 信徒協役員会/共助連絡会
 13日(日) 城東B会議/三河B会議/教区中高生会/一粒会委員総会
 15日(火) カトリック看護協会例会
 17日(木) 月集*
 19日(土) 正義と平和学習会/樹の会
 20日(日) 総会/レジオ名古屋クリア
 城北B会議/城南B会議/インターナショナルミサ・こどもの集い(南山教会)*
 城北ブロック堅信式(五反城教会)*

5月
 9日(水) 日本カトリック難民移住移動者委員会
 10日(木) 常任司教委員会
 11日(金) カピタニオ高校創立55周年ミサ
 22日(火) AOS全国区会議
 29日(火) 南山学園評議員会
 9日(水) 福信館便り ☎052(935)7180
 ◇4月の炊き出し 木5日東山、12日城北橋、19日聖霊・樹の会・南山、26日城北橋、金6日喜望の会、13日長浦、20日布池、27日南山

「青年のための聖書の学び」4月15日(日)
 テーマ: ルカ15章 神様の主張(行方不明の息子)
 対象 青年男女(18~32歳)
 時間 午後2:00~7:50(高校生4:30まで)
 詳細 1:30~玄関を開けます 2:00~聖書「学び」、3:00~「個人の祈り」、3:30~分かち合い、4:00~4:30おやつ、4:30~5:30(この日は、皆で夕食を作ります) 場所は修道院の台所「カレー」又は「トン汁」、共同体と共に祈りと食事をする(5:45~ご聖体礼拝、晩の祈り、夕食) 食費:自由献金、7:45~ 糾明 サルヴェ・レジナ、終了
 問合せは下記まで
 FB「青年のための聖書の学び」、HP <http://www.concepcionistas.jp/>
 連絡先 ☎052-782-5850 名古屋市千種区園山町1-56 聖マリアの無原罪教育宣教師修道会
 担当者 シスター錠(いかり) 政子

告知板
 福信館便り ☎052(935)7180
 ◇4月の炊き出し 木5日東山、12日城北橋、19日聖霊・樹の会・南山、26日城北橋、金6日喜望の会、13日長浦、20日布池、27日南山

577件 28,713,675円
 目標額 40,000,000円(2月末)
 建設費の返済に協力を
 達成率 約71.8%
 郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

2018年度キリシタン史勉強会のお知らせ
 第1回 主税町記念聖堂 4月14日(土) 13:00~
 金沢教会 5月13日(日) 14:00~
 イントロダクション(ミカエル松浦悟郎司教)
 「16世紀西欧の宗教状況と日本宣教の進展」(橋本裕明氏)
 第2回 主税町記念聖堂 7月16日(月・祝) 13:00~
 金沢教会 9月9日(日) 14:00~
 キリシタン文化を考える(青山玄神父)
 仮題 「日本に影響を与えた宣教師がもたらしたキリスト教」
 第3回 主税町記念聖堂 11月3日(土・祝) 13:00~
 金沢教会 11月18日(日) 14:00~
 キリシタン禁制の歴史その1(浅井太郎神父)
 仮題 「豊臣秀吉、徳川家康、秀忠、家光の時」
 連絡 講師の都合により講題テーマは変更になる場合があります
 お申込み不要 参加無料(席上献金あり)
 ご希望の方は各教会へお出かけください
 主催 カトリック名古屋教区殉教者顕彰委員会
 問合せ ☎052-936-8366

▼名古屋カナの会のお知らせ
 カトリック信者間の結婚のお世話をするため1974年に設立した名古屋カナの会は、新入会員がなくなり一時休止することとなりました。今までのご支援に深く感謝いたします。なお、この会の維持運営に情熱をもって取り組む意志のある方がいましたら、指導司祭平田政信神父、又は会長渡辺邦俊か事務局中村由紀までご連絡下さい。

主にささげる24時間~聖体礼拝
 2017年10月より主税町記念聖堂で月に2回、聖体礼拝が行われています。また開始時と終了時にはミサが行われます。どうぞご参列ください。
 日時 毎月第2・第4 木曜日 19:00 ~ 金曜日 19:00
 場所 主税町記念聖堂
 主催 カトリック名古屋教区
 責任者 平田政信神父
 問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223
 平田政信神父 携帯電話 090-1623-1170

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ
「ロザリオの祈り」
 4月8日(日) 14:00~(40分程) どなたでも自由に参加できます。
「読書会」
 4月21日(土) 14:00~15:30
 「パウロの福音」カルロ・マリア・マルティーニ著を使います。参加希望の方は事前にご連絡ください。
 連絡先 聖パウロ書院(聖パウロ女子修道会)
 ☎052-936-4443 FAX 052-799-4461
 連絡 書院整理のため下記の期間おやすみします。
 4月2日(月)~4月4日(水)

インターナショナル・ミサ
 ~子どもとともに捧げるミサ~
 「みんないっしょ、むかえる人もくる人も」
 日時 5月20日(日) 14:00~
 場所 カトリック南山教会
 名古屋市昭和区南山町1
 司式 ミカエル松浦悟郎司教
 交通 地下鉄鶴舞線いりなか下車②番出口徒歩7分
 できる限り公共交通機関でお越し下さい。
 連絡 ミサ後は持ち寄りパーティがあります。
 主催 名古屋教区難民移住移動者委員会
 ☎052-953-9480 河村公子

福信館「春のバザー」2018
ホームレス炊き出し支援バザー
 支援バザーに皆様のご協力をお願いします。
 日時 4月22日(日) 10:00~14:00
 催し物 模擬店、リサイクルコーナー等
 主催 福信館炊き出しの会実行委員会

東日本大震災・災害支援金の報告
 社会福祉委員会
 発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!!
 (振込手数料引去後の金額)

摘要	単月明細	
	2/1~2/28	2011.3.17 発災から2018.2.28までの合計
募金、ご寄付 収入合計	(※1) 35,404	28,885,212
ベース他支援 支出合計	10,000	27,837,821
	支援金残高合計	1,047,391

 (※1) 2月度に支援金のご協力いただいた小教区等(敬称略) 金沢教会
★名古屋教区は
 「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とカリタス米川ベース、NPO法人「障がい者自立センターかまいし」、カリタス南相馬(旧・原町ベース)、カリタスジャパン(東日本大震災募金)の応援をしています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。
 ☆大阪教会管区(高松、広島、京都、大阪、名古屋教区)は「東日本大震災応援ツアー(大船渡ベース~南三陸ベース)」を行います。
 第1回6/5~7・第2回7/3~5・第3回9/25~27・第4回10/23~25
 詳しくは社会福祉委員会へ
★各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載されています。 <http://caritasjapan.jugem.jp>
★支援金振込先 郵便振替用紙にて
 口座番号 00880-6-1628
 名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
 「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。
 ご連絡・問合せ先
 社会福祉委員会
 電話 052-852-1426
 FAX 052-852-1422